

総合教育会議会議録

(令和3年度第2回)

日時 令和3年10月13日(水) 14時00分～

場所 市役所本館2階庁議室

出席者

徳永市長、田坂教育長、越智教育委員、山本教育委員

西原教育委員、仁志川教育委員

徳永市長

教育委員の皆様が高い感性、識見で様々な議論していただいていることを改めて実感した。大綱は、ややもすれば、総花的というふうに思われるところもあるかもしれないが、これに魂を入れて、財源を貼り付けて、時間軸を持って実践するのは我々である。市民のための仕事をしているという認識と情熱、思い、理想をもって一丸となって頑張ってもらいたい。

越智委員

我が国トップクラスの教育都市を目指すこの大綱の柱は、一貫教育、連携である。学校現場は多忙を極め、多くの問題も抱えている。子どもに手厚い支援をするためにも、教員どうしの相談が必要で、そのためには教員の数がいる。

山本委員

大きなことを成し遂げるには、心躍るような高い目標がいる。そして、全員の納得も必要。目標の要件は、時間軸、目標の水準、その期間であり、この大綱にはすべてが網羅されている。実施するには、情熱が必要。

西原委員

「誰一人取り残さずことのない学びの実現」に当たっては「浮きこぼれ」をなくすこと、ポテンシャルのある子をもっと伸ばすための教育も必要。ICTの活用などにより、子たちの個々の可能性が、未来に向かって広がっていくように対応してほしい。性自認に悩む子の受け皿をあらかじめ検討しておくことも時代の流れである。

仁志川委員

飛び級もそうだが、わからないところ(学年)に留まり学習するチャンスがあってもいい。学校に行きたくないが勉強をしたいという子どももいる。ICTは、新しい選択肢を与える一助となる。